

- 1 推古天皇のもとで大臣（おおおみ）として、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？
- 2 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
- 3 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
- 4 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
- 5 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？
- 6 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 7 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
- 8 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？
- 9 663年に、百済復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？
- 10 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？
- 11 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？
- 12 白村江の戦いのとき、百済を助けるために軍を送った日本の中心人物は誰？
- 13 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 14 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 15 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 16 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？
- 17 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
- 18 645年、天皇中心の国づくりをめざして改革を始めた2人の組み合わせは？
- 19 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？
- 20 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 21 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 22 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？
- 23 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	推古天皇が即位すると、聖徳太子が摂政となり、馬子とともに新しい国づくりを主導しました。		蘇我馬子	☐
2	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。		渡来人	☐
3	604年に制定されました。		十七条の憲法	☐
4	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。		中央集権	☐
5	遣隋使は、小野妹子らによって何度か派遣されました。		遣隋使	☐
6	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。		律令制度	☐
7	672年に勃発したこの内乱は「壬申の乱」と呼ばれます。		壬申の乱	☐
8	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。		白村江の戦い	☐
9	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。		白村江の戦い	☐
10	天武天皇は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。		天武天皇	☐
11	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。		法隆寺	☐
12			中大兄皇子	☐
13	「飛鳥文化」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。		飛鳥文化	☐
14	大海人皇子は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。		大海人皇子	☐
15	聖徳太子は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。		聖徳太子	☐
16	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。		左右対称	☐
17	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。		公地公民	☐
18			中大兄皇子と中臣鎌足	☐
19	奈良県には法隆寺のほか、飛鳥寺や山田寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。		奈良県	☐
20	冠位十二階は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。		冠位十二階	☐
21	渡来人は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。		渡来人	☐
22	儒教は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。		儒教	☐
23	603年に制定された冠位十二階は、役人に大徳から小智まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。		冠位十二階	☐

言えなかった用語ノート